

情報公開文書

当院の倫理委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となる方から同意を頂くことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。

なお、本件について拒否される場合やご質問がある場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

1. 実施内容	ファンギゾンシロップ 100mg/mL（成分名：アムホテリシン B）の成人口腔咽頭カンジダ症ならびにうがいでの使用
2. 対象となる方	口腔咽頭カンジダ症の患者
3. 実施期間	承認日 2026 年 6 月 3 日～永続的
4. 概要	【目的・意義】 ファンギゾンシロップは小児の口腔咽頭カンジダ症に「口腔内に含んだ後飲み込む」という用法で承認されているお薬です。 成人の口腔咽頭カンジダ症にはオラビ錠（成分名：ミコナゾール）が保険適用されていますが、他のお薬を服用している場合には使用できないことがあります^{*1}。また、オラビ錠は患者さんご自身で口腔内の適切な場所に 6 時間以上貼付する必要があるため、口腔内の乾燥など患者さんの状態によっては使用が難しい場合があります。 当院では、「侵襲性カンジダ症の治療・診断ガイドライン（日本医真菌学会）」に基づいて、担当医が必要と判断した場合に、ファンギゾンシロップを成人口腔咽頭カンジダ症患者に使用することがあります。また小児、成人ともに「うがい」の用法で使用することがあります。 ^{*1} 肝臓の薬物代謝酵素（CYP3A および CYP2C9）を阻害するため、これらの酵素で代謝されるお薬との併用は禁忌です。 【想定される不利益と対策】 ファンギゾンシロップは小児に適用のあるお薬であり、一般的に安全性は高いとされています。適応通りに使用した場合でも過敏症（かゆみ、発疹など）や消化器症状（悪心・嘔吐・下痢など）等の副作用が起こる可能性があります。副作用に十分注意しながら使用し、副作用が生じた際には症状に応じた適切な治療を行います。
5. お問い合わせ先	マツダ（株）マツダ病院 倫理委員会事務局 電話：082-565-5000（代表）